
第63回（2019年度）

東京都保育研究大会

すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして
～子どもがすこやかに育つ保育～

開催要綱

〔日程〕 2019年6月18日（火）～19日（水）

〔会場〕 国立オリンピック記念青少年総合センター
カルチャー棟大ホール（18日）／センター棟会議室等（19日）

〔主催〕 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会

第 63 回(2019 年度)東京都保育研究大会 開催要綱

- 1 主題 「すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして
～子どもがすこやかに育つ保育～」

2 主旨

近年、少子化の進行、地域や家庭での養育の低下、子育て不安、児童虐待の増加などが大きな社会問題となっています。このような社会背景を踏まえ、平成 27 年 4 月、子ども子育て支援新制度がスタートしました。

そして平成 30 年に施行された保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領では、「乳児・1 歳以上 3 歳未満児の保育の充実」「幼児教育の積極的な位置づけ」「子どもの育ちをめぐる環境の変化をふまえた健康・安全」「子育て支援の必要性」「保育者の資質・専門性の向上」が打ち出され、私達保育者はより高度な知識・技術と育ちの援助が求められています。

日々の保育の中で、子どもの命を預かり、子どもの健やかな成長・発達はもとより、地域の子どもや保護者に対する子育て支援の取り組みと保育、様々な機関との連携、協働していくことも視野にいれて、未来をつくる子ども達の豊かな心を育んでいこうではありませんか。

今大会では、このような状況を踏まえ、保育所の社会的意義とその役割、保育実践などについて論議し、保育をめぐる動きのなかで大切にすべき視点について研究を深めていきましょう。

- 3 主催 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
- 4 後援 東京都(予定)・社会福祉法人 全国社会福祉協議会(予定)
- 5 期日 2019 年 6 月 18 日(火)～19 日(水)
- 6 会場 【全体会】第 1 日目 2019 年 6 月 18 日(火) 13 時～16 時 30 分
国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール
〔渋谷区代々木神園町 3-1〕
【分科会】第 2 日目 2019 年 6 月 19 日(水) 10 時～16 時
国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟会議室等
〔渋谷区代々木神園町 3-1〕
- 7 参加者 東京都内公私立保育所関係者、福祉・保健・教育・行政関係者、社会福祉協議会関係者、保護者、研究者、学生、その他保育関係者 定員 700 名(先着順)
- 8 運営 この大会は、東京都社会福祉協議会保育部会常任委員会と大会企画委員会を中心に、保育部会地区委員、会員保育所各位の協力によって運営されます。

9 日程

	12:30	13:00	13:30	15:00	15:15	16:30
6 月 18 日(火)	受付	開会	基調講演	休憩		記念公演
	9:30	10:00	12:00	13:30		16:00
6 月 19 日(水)	受付	分科会	昼食※	分科会		

※ 分科会によって進行が異なります。昼食時間についても前後する可能性があります。参加者同士の昼食時のお待ち合わせの場合には、十分ご注意ください。

東京都保育研究大会は、1954(昭和 29)年 7 月に東京・新宿で開催された東京都保育事業緊急大会を起源としています。開始以来、都内の公私立保育所関係者が集まり、保育と子ども・子育てのあり方の研究の場として開催しています。

第1日目 6月18日(火) 全体会

第1部 (13:00~13:30) 開会

- 開会挨拶 東京都社会福祉協議会保育部会部会長
東京都社会福祉協議会副会長
- 来賓祝辞 東京都福祉保健局 少子社会対策部 子供・子育て施策推進担当部長(予定)

第2部 (13:30~15:00) 基調講演

「心の育ちと対話する保育実践」

東京家政大学 子ども学部 子ども支援学科 教授
加藤 繁美(かとう しげみ) 氏



今回は「心の育ちと対話する保育」をテーマに取り上げました。21世紀の入り口に立った今、日本の幼稚園・保育園はこれまで私たちが経験したことのない規模の役割を背負いながら社会に存在していると思います。そのことは、幼稚園、保育園が乳幼児の発達にかつてない責任を担っているともいえます。乳幼児時期の保育実践を進める上で、なによりも大切なことは、子どもと保育者がどのように関わっているかが課題になると考えます。人や環境などと対話的關係を通して、新しい価値を創造する人間を、乳幼児期から意識して育てることの意味について、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

〔プロフィール〕

名古屋大学大学院教育学研究科修了。国立大学法人山梨大学教授を経て、平成30年4月より東京家政大学子ども学部教授。保育カリキュラム論を中心に保育実践のあるべき姿を研究している。主な著書は以下の通り。

『記録を書く人 書けない人』(ひとなる書房)『0歳~6歳 心の育ちと対話する保育の本』(学研教育出版)

『新版 子どもと歩けばおもしろい』(ひとなる書房)『対話と保育実践のフーガ』(ひとなる書房)

『対話的保育カリキュラム(上・下)』(日本保育学会保育学文献賞受賞、ひとなる書房)

~休憩 (15:00~15:15)~

第3部 (15:15~16:30) 記念講演

「保育に活かせる心理学」

心理学者・臨床心理士

植木 理恵(うえき りえ) 氏

〔プロフィール〕

大分市出身。東京大学大学院教育心理学コース修了後、文部科学省特別研究員として心理学の実践的研究を行う。日本教育心理学会にて「城戸奨励賞」「優秀論文賞」を史上最年少で連続受賞し、脚光を浴びる。現在、慶応義塾大学にて心理学の講義を行うとともに、臨床心理士として都内総合病院の心療内科に勤務。フジテレビ系「明石家さんまのホンマでっか! TV」にて心理評論家として人気を集めている。

『賢い子になる子育ての心理学(ダイヤモンド社)』

『やる気を育てる! ~科学的に正しい好奇心・モチベーションの高め方~(日本実業出版社)』

『本当にわかる心理学(日本実業出版社)』



第2日目 6月19日(水) 分科会

1 子どもの育ちを保障する

保育所の大きな役割は、子ども自身が自ら伸びようとする主体的な力を引き出し、将来、人と手をとりあって社会の中で生きていくための、基礎となる力を育てることです。子どもの発達支援を中心に据えた保育を展開するために「質の高い保育」について研究を深め、その保育を実践する人材を育成し、研修の充実を図ります。

「すべての子どもに向けて新たな時代の保育実践」～保育所保育指針に基づく質の高い保育を提供する～

- ① 質の高い保育のあり方について研究をすすめ、実践に繋げる
- ② 自己評価等を研究・活用し、保育の質の向上をすすめる
- ③ 利用者の個別ニーズに対応した、きめ細かな保育を提供する

第1分科会 保育所保育指針と保育実践を考える — 0歳児 —

【助言者】 日本女子大学家政学部児童学科 特任教授 西 智子 氏

【発表者】 社会福祉法人檸檬会レイモンド南町田保育園(町田市)

「子ども理解の方法としてWEB式指導計画とラーニングストーリーの実践報告」

社会福祉法人八晃会宝光保育園(日の出町)

「子ども・保護者に寄り添ったあたたかい保育の実践」

第2分科会 保育所保育指針と保育実践を考える — 1歳児 —

【助言者】 川口短期大学 教授 加藤 邦子 氏

【発表者】 千代田区共同研究(千代田区)

「発達を支える保育環境を再考する～コーナーづくりを中心とした室内環境の充実を通して～」

社会福祉法人やまぶき会そよかぜハーモニー保育園(府中市)

「あそびと生活」

第3分科会 保育所保育指針と保育実践を考える — 2歳児 —

【助言者】 帝京大学 教授 芦澤 清音 氏

【発表者】 社会福祉法人ダビデ会昭島ナオミ保育園(昭島市)

「発達障害系の問題出現を軽減する2才児の保育援助をめざして～固有感覚受容に着目して～」

社会福祉法人つぼみ会つぼみ保育園(江戸川区)

「友達との関わりと環境作り～小集団と集団～」

第4分科会 保育所保育指針と保育実践を考える — 3歳児以上児 —

【助言者】 東京女子体育短期大学 児童教育学科 准教授 村石 理恵子 氏

【発表者】 台東区立保育園10園・区立こども園1園 共同プロジェクト(台東区)

「午後の運動遊びの充実と子ども達の生活リズム、情緒、体力の変化について」

荒川区立保育園保育勉強会グループ(荒川区)

「友達ちとつながる力～かかわりの質が変化するきっかけ～」

第5分科会 配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて

保育現場において、発達障がい疑われる子ども等、配慮を必要とする子どもの増加が指摘されています。このような状況の中、保育をする上で大切なのは、保育士の関わり方や考察に対して職員間で話し合い、園全体で共通理解を図るとともに保護者との信頼関係を構築し、保護者の悩みを受け止め、一緒に考えていくことで保護者支援につなげていくことです。

子どもの家庭を支えることで、その生活体験が障がいを抱える子どもの発達を支え、同じ時間を共有しながら一緒に過ごしている健常の子どもの成長を支えています。

本テーマでは、このような子どもや保護者へのより良い支援を目指して実践研究を深めます。

【助言者】 臨床発達心理士・スーパーバイザー 橋場 隆 氏

【発表者】 運動遊び学習会(葛飾区)

「気になる子が伸びる運動あそび」

社会福祉法人立野みどり福祉会玉川上水保育園(東大和市)

「配慮を必要とする子どもや家庭への支援の経過」

第6分科会 職員の資質向上を図る

待機児童解消に向けて、各地でさまざまな保育所が新設され、保育所職員の雇用形態、就業形態が多様化しています。保育の現場では、未来を担う子どもたちの心身の健やかな成長・発達のため、保育内容の充実を図るとともに、チームワークの形成、職場全体のスキルアップがより一層求められています。

本テーマでは、保育所職員の資質向上に向けた効果的・具体的な実践、そして保育従事者に求められる自己啓発のための取組みについて、研究を深めます。

【助言者】 東京家政大学子ども支援学科 准教授 小櫃 智子 氏

【発表者】 墨田区共同研究グループ(墨田区)

「子ども主体の保育をさらに深めていく中で見えてきた保育者の変化」

社会福祉法人たつの子の会西東京市立そよかぜ保育園(西東京市)

「発信する力を養う“新人育成”」

2 多様な連携と協働で、子育てライフを支援する

子どもが心身ともに豊かに成長するためには子どもと家庭を一体的に捉えて、その家庭を支援することが必要です。また、子育てへの不安や児童虐待への対応等、子育て家庭への支援は地域社会を基盤とする多面的な取り組みの充実が求められています。保育所は様々な機関・組織・団体や住民が連携し、子育て支援の拠点として、すべての家庭を対象とした取組を考えていきます。

- ① 保育所を利用する保護者への支援を充実する
- ② 地域子育て家庭への支援を充実する
- ③ 子育て・子育て支援のネットワークの中で保育所の役割を発揮する
- ④ 地域の保育機能を強化する
- ⑤ 子育てへの関心を高める
- ⑥ 子育て文化につながる活動を広げる

第7分科会 子どもの心と身体の食育活動を考える ～家庭や地域との連携による食育の推進～

保育所保育指針で「食育の推進」が取り上げられ、子どもが主体的に参加し、食べることを楽しむことが重要視されています。子ども同士、保育士や給食担当者や地域の人たちと一緒に食べたり食事を作ったりすることを経験して子どもが人と関わる力を育てることも求められています。そのためには、調理する人への感謝の気持ちが育つよう、また「美味しく、楽しく食べること」が大切であり、子どもが安心して食べられる環境にあること、保護者との信頼関係や職員間での連携が必要です。

本テーマでは、改めて食を通じた学びの機会を充実させるための保育実践、保護者・地域と連携した食育、食物アレルギーへの対応について研究を深めます。

【助言者】 武蔵野短期大学 准教授 小野 友紀 氏

【発表者】 調布市立上石原保育園(調布市)

「上石原保育園 食育の取り組み ～食育を通して得たもの、そして今後の課題～」

社会福祉法人頌栄会頌栄保育園(杉並区)

「連続性のある食育活動の実践」

第8分科会 保育所の持つ機能を保護者支援・地域支援・保幼小の連携に活かして

～子どもにとってより良い育ちを求め その支援を考える～

地域のつながりが弱まる中、核家族化など家庭形態の変化により、子育てに孤立感・孤独感を深めている家庭が増加し、その支援や援助のあり方も様々になっています。保育者は、保護者が子育ての喜びが得られるように、気持ちを読み取る力をつけながら、思いや不安の解消に向け、子育て力の向上につながるよう保育所の機能を活かした支援が求められています。さらに貧困に起因する課題への対応、児童虐待予防など地域の関係機関との連携・協働を持ってすすめるべき取り組みも多々あります。

本テーマでは、子どものより良い育ちに向け、多様な機関との連携・協働の進め方や保育所が果たす役割について研究を深めます。

【助言者】 聖徳大学大学院 教授 塩 美佐枝 氏

【発表者】 社会福祉法人東京児童協会白河かもめ保育園(江東区)

「園に求められている子育て支援とは」

社会福祉法人高原福祉会村山中藤保育園「櫻」(武蔵村山市)

「安心できる親子関係を支える保育園の役割とは」

3 子どもの心身の健全な発達を考える

【第9分科会】運動遊び～コーディネーショントレーニングで非認知能力を育む～

保育現場の“からだのおかしさ”に関する調査では、「背中ぐにゃ」といった姿勢の悪さや、「つまずいてよく転ぶ」「転んでも手がでない」など危機回避の苦手な子ども、「すぐ疲れたと言う」「保育中じっとしていない」など活動や集中が持続しない子どもの増加が実感として報告されています。

「コーディネーショントレーニング」は、人間の運動発達の根本となる脳神経系に刺激を与え、運動の学習能力を高めるトレーニングです。そして、「考える力」「感じとる力」を高めることで、主体的に体を動かす欲求や多様な環境に対しても積極的に関わりあおうとする意欲を引き出します。脳と心と体を統合的に捉えたアプローチで、理論背景には「身体性」や「全体性」の考え方があります。

継続的に取り組んだ園では、戸外遊びに出て行く幼児が増えた、転んでケガをする幼児が減った、話を聞く際の姿勢の保持がしっかりしてきた等の報告があります。また、保護者からも「嫌がってやらなかったことも、失敗しても頑張ろうとするようになった」「自分で気持ちの切り替えや感情のコントロールができるようになった」など非認知的能力の高まりを実感する報告もあがっています。

本テーマでは、子どもはもちろん大人にも効果がある事例紹介やトレーニング体験を通じて、現場での実践法をお伝えします。

* 第9分科会にご参加される方は、体育館用の靴、動きやすい服装でお越しください。

【講師】特定非営利活動法人日本コーディネーショントレーニング協会 副理事長・事務局長 菅野 映 氏

- 11 参加費 東社協保育部会 会員 1人 6,000円 / 非会員 1人 9,000円(税込・資料代含む)
 ●6月18日または19日のいずれか1日のみ参加の場合も同一料金になります。昼食代は含まれていません。

12 2日目昼食代 560円(税込)

ご希望の方に限り「カフェテリアふじ(センター棟2階)」の昼食券(2日目のみ)をご用意します。参加申込書にご記入下さい。

- 「カフェテリアふじ」はセルフサービス・カフェテリア形式の食堂です。当日いくつかある和洋中のセットメニューを選択できます。
- 昼食券は当日11:30～13:30のみ有効です。別の日・時間にはご利用できません。
- 昼食代は参加費ご送金の際に併せてご送金ください。
- 一度お申込みをいただいた後の昼食券の払い戻しはお受けできません。ご了承ください。
- 「カフェテリアふじ」以外にも、当日は複数の食堂が営業しておりますが、いずれも当日利用には席数に限りがあります。昼食ご希望の場合、できるだけ事前申込みによる「カフェテリアふじ」をご利用ください。
- センター建物内での飲食は定められたところ以外では禁止となっております。予めご了承ください。
- 分科会によって進行が異なるため、昼食時間が前後する場合がございます。参加者同士のお待ち合わせの場合には十分にご注意ください。

13 分科会ご希望について

全体定員700名(先着順)とは別に分科会ごとに定員があり、基本的に先着順となります。申込みをいただいた時点で第1希望の分科会が定員に達した場合、第2希望の分科会へのご参加とさせていただきますので、予めご了承ください。ご希望の記入がない場合、主催者により分科会を調整いたします。

14 お申込み方法

別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、主催者が参加取りまとめ・参加費徴収の事務を委託する下記の業者まで、FAXにてお送りください。

なお、お申込み後に申込内容の変更・取消が生じた場合は、お申込みの際の参加申込書を変更箇所がわかるよう訂正の上、再度下記の業者までFAXにてご連絡ください(行き違いを防ぐためお手数でも必ずFAXにてご連絡くださいますようお願いいたします)。

【お申込み先】 名鉄観光サービス㈱ MICE センター「保育研究大会」係
 担当: 波多野、柴田、北川 [電話]03-3595-1121 [FAX]03-3595-1119

【締切り】 2019年5月10日(金) 必着

【参加券等について】

- 申込み内容の確認ができ次第、参加券、2日目昼食券、送金手続きについてのご案内を郵送いたします。なお、1日目(6月18日)の参加券は、「資料引換券」と兼ねておりますので、当日は忘れずにご持参ください。
- 参加券、昼食券はかならず原本をお持ちください。(コピー等による代用は受付をいたしません)

【参加費等の送金】

参加券等と併せて郵送されます「送金手続きについてのご案内」に記載の振込口座にご入金ください。

なお、振込先は主催者が事務を委託している上記業者の口座となりますので、ご注意ください。

- 原則として、ご入金後の参加費は返還いたしません。大会当日ご欠席の場合は、後日資料を送付させていただきます。
- 参加費の領収証は、原則として金融機関の振込の控えをもって代えさせていただきます。特に領収証が必要な場合は、当日、保育大会の総合受付にお申し出ください。
- 本会発行の請求書や所定の書式への押印が必要であれば、下記お問合せ先(東社協)までFAX(03-3268-0635)で書面にてご連絡ください。なお、様式は問いません。
- 誤入金等によるご返金の場合、振込手数料をご負担いただく場合があります。

【大会資料について】

2部以上希望の方は、有償販売(1冊500円[税込])する予定です。詳細は当日総合受付でお尋ねください。

【大会会場について】

空調の関係上、寒くなる会場があります。必要な方はひざ掛けや羽織るものをご持参ください。

15 お問合せ先

開催内容 について	社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 保育部会 保育大会担当 (TEL)03-3268-7174 (FAX)03-3268-0635
参加申込み・請求内容 について 参加申込書送付先	名鉄観光サービス㈱ MICE センター「保育研究大会」係 担当: 波多野、柴田、北川 営業時間 平日 9:30～17:30 土日祝日休業 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2新霞が関ビルロビー階 (TEL)03-3595-1121 (FAX)03-3595-1119

国立オリンピック記念青少年総合センター

【18日】カルチャー棟大ホール 【19日】センター棟会議室

〔住所〕東京都渋谷区代々木神園3-1〔交通〕小田急線「参宮橋」駅より徒歩7分

交通案内



会場内案内図



※会場には、「正門」からお入りください

第 63 回 (2019 年度) 東京都保育研究大会 参加申込書【6 月 18 日～6 月 19 日】

申込施設名 ツガナ 保育園	申込担当者名 ツガナ	住所 (参加券送付先) 〒 ※送付先は基本的に申込施設宛となります	TEL - - FAX - -
---------------------	---------------	---	--------------------

No.	公 私	東社協保育 部会会員	所属保育園名	参加者氏名	職 名	2 日目希望分科会		2 日目 昼食券申込 (6/19)
						第 1 希望	第 2 希望	
1	公 立 公設民営 私 立	会 員 非会員	ツガナ 保育園	ツガナ		分科会	分科会	
2	公 立 公設民営 私 立	会 員 非会員	ツガナ 保育園	ツガナ		分科会	分科会	
3	公 立 公設民営 私 立	会 員 非会員	ツガナ 保育園	ツガナ		分科会	分科会	
4	公 立 公設民営 私 立	会 員 非会員	ツガナ 保育園	ツガナ		分科会	分科会	
5	公 立 公設民営 私 立	会 員 非会員	ツガナ 保育園	ツガナ		分科会	分科会	

- 東社協保育部会 会 員 保育園参加費 @6,000 × _____ 名 = ¥ _____
- 東社協保育部会 非会員 保育園参加費 @9,000 × _____ 名 = ¥ _____
- 昼食代 @560 × _____ 名 = ¥ _____

総合計 円

↑
ご希望の方は
必ず○をつけ
てください。

<<通信欄>> 	※5 月 10 日 (金) までにお申し込みください。 名鉄観光サービス(株)MICE センター「保育研究大会」係 FAX 03-3595-1119
-----------------	--

※参加申込後に申込内容に変更・取消が生じた場合は、申込時の参加申込書に変更内容をご記入の上再度 FAX してください。